

職員の名札

施設に勤める職員によく見られる名札は、首からぶら下げるネームカードホルダーに、顔写真付きで名前や肩書きが書かれているカードを差し込むタイプが一般的です。しかし、全身を動かすことの多いアウルのスタッフにとってホルダーはときに邪魔者。事故予防のためつい胸ポケットに入れたままにし、名札本来の役目を果たせないこともありました。

そこで、形状や素材、写真や肩書きの必要性などを多角的に検討し、現在の名札ができました。名前を刺繍した布地をマジックテープでユニフォームに圧着しているのでスタッフの動きが制限されることはなく、入居者様やご家族にも「大きなふりがなが読みやすい」と好評です。

なつぼり めぐみ
夏堀 恵美

いけだ まきこ
池田 真紀子



ここなの日本髪、似合う？

いやし課見習い補
りりこ&ここな

▲カツラが苦手なりりこは、帽子でおすまし。

スタッフ リレーエッセー

有言実行

ご存じの通り私は肥満。昔からです。垂直跳び60cmの記録がありますが、最近は動く息切れがします。このままでは、入居者の皆さんを支えることができなくなってしまうのも時間の問題です。また、娘が「ママおしりでっかいね」と厳しいことを言うようになってきたので決意しました。この「スタッフリレーエッセー」でダイエットを宣言します！



看護師 夏堀 恵美

【食事】氷こんにゃくダイエットをしてみようと思います。こんにゃくを茹でて適度な大きさに切って凍らせ、自然解凍後にそのこんにゃくを肉に見立てて調理するといった方法です。

【運動】有酸素運動が一番なので歩きます！ 真駒内公園や近所をウォーキングしたいと考えています。

皆さんを支え続けられるよう、人生初の努力をしようと思います。有言実行の成果を見ていてくださいね。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

交通機関 ●地下鉄南北線「真駒内」駅下車
●じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろらの家 だより

その35
2016年1月

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



2016年を迎えて

代表取締役 武田 治信

2016年が明けました。今年は国民一人一人に付与されたマイナンバーに基づいて個人番号カードが交付されるそうですが、定着するにはまだ少し時間が必要に思います。新幹線も1964年に東京～新大阪間が開通してから50年が経って、今年ようやく函館まで開通し北海道に繋がります。8月にはリオデジャネイロ・オリンピックが開催予定です。新しい年が希望と夢と幸福に満たされることを祈ります。

振り返って2015年は、フォルクスワーゲンの排ガスデータ偽装、くい打ちデータ流用など、偽装の事件が目立った年でした。一方で、10月にはノーベル賞に日本から医学生理学賞に大村智さん、物理学賞に梶田隆章さんが選ばれて日本人受賞者が24名になり、非欧米の国では一番多いという報道に誇らしい気分を味わいました。

11月、原節子さんが9月5日に亡くなっていたこと

が明らかになり、全国紙5紙全ての朝刊コラムで原節子さんの死が取り上げられていました。引退して53年たった今でもそれほどまでに世間に影響を与える人だったということに驚きです。原さんは1930年代から小津安二郎監督の作品に相次いで出演し有名になりました。代表作の『東京物語』(1953年)は、2012年に行われた世界の映画監督による最優秀映画投票で第1位に選ばれています。「原さんは美しいまま永遠に生きている人です」と映画監督の山田洋次さんが語っていたそうです。北海道新聞のコラムも「女優人生は短かったけれど伝説になった人のようです」と結んでいました。

昨年を振り返りながら、古き良き時代を偲びつつ、輝かしい新しい年を皆さまと迎えらるることに感謝し、今年も入居者の皆さますべてが健やかで平穏な一年となりますように。

入居時のニーズ

一人暮らしの高齢者がアウルコート真駒内にご入居される際の決め手は何なのでしょう？

入居者様とご家族のお話からベスト5を選んでみました。

そこから見えてきたことは、介護付き有料老人ホームへのニーズです。同じ屋根の下で働く気心の知れた介護・看護

職員が提供するの、包括的な介護保険サービスをはじめ、健康管理や生活相談、コンシェルジュ的な役割などさまざま。アウルでは必要なケアを適切に提供することで要介護度が軽くなった方もいらっしゃいます。

健康と生活機能を維持し、いきいきと齢を重ねられる場として、アウルは今年もサービスの充実と質の向上に努めます。



BEST 2 入浴 使いやすさに配慮した浴場は機械浴の設備付きで、要介護度が上がっても入浴可能。要介護度5の方も週2回お風呂を楽しまれています。



BEST 3 掃除 意外と筋力を要するのが掃除全般。細切れの時間利用をせざるを得ない独居のころと違い、アウルなら細かな家事援助もまとめて提供できます。



BEST 5 創作活動 趣味活動を楽しむことで自然に進む機能訓練。認知症の方向けの「ひまわりクラブ」も、活動内容に惹かれ多様な参加者が集まっています。



BEST 1 食事 毎日3食を違う献立で提供。栄養バランスへの配慮はもちろん、好みや体調に合わせ代替食も用意。特別なごちそうで季節感も演出します。



BEST 4 洗濯 「できることは自分でしたい」の声に応えて、洗剤計量などのできない部分だけお手伝い。自分でやっている満足感が、日々の意欲につながります。



アウルの日常生活サービスベスト5 介護付きだからできるケア



アウルの四季彩々日記

かかりつけの訪問診療医が看取りについて講話

昨年8月26日(水)、隔週で訪問診療に来られる札幌ライラック病院の平井修二副院長による看取り研修会を実施しました。看取り経験のないスタッフからの要望を受けて講師役を買って出てくださいました平井副院長は、365日24時間対応の訪問診療医として培った経験をもとにアドバイス。その後、アウルで



は3名を看取り、研修での学びが活かされることとなりました。



●4/6(月)

歯医者さんの訪問診療

協力医療機関の日之出歯科から歯科医と歯科衛生士が定期訪問。ポータブルレントゲンなどが持ち込まれ、外来治療の9割近くが訪問診療でも可能とのことでした。



●9/6(日)

若者を相手に囲碁対局

20~40代の若者で構成されている囲碁サークル「若碁スタイル」のメンバーが、ボランティアで対局相手を務めに来訪。月2回、熱い勝負が行われています。

●7/17(金)

緑いっぱい真夏の農園

外出レクリエーションで八紘学園へ。直売所には農業専門学校の学生や職員が育てた野菜や自家生産牛の乳製品がいっぱい。濃厚なソフトクリームが好評でした。



●10/9(金)

秋の恒例コンサート

第17回目のコンサートはおなじみの横田朱乎さん。昨年同様、リコーダーの江崎浩司さん、ピアノの伊藤一人さんとともに、素敵な演奏を聴かせてくれました。

